

前回会合のフォローアップ

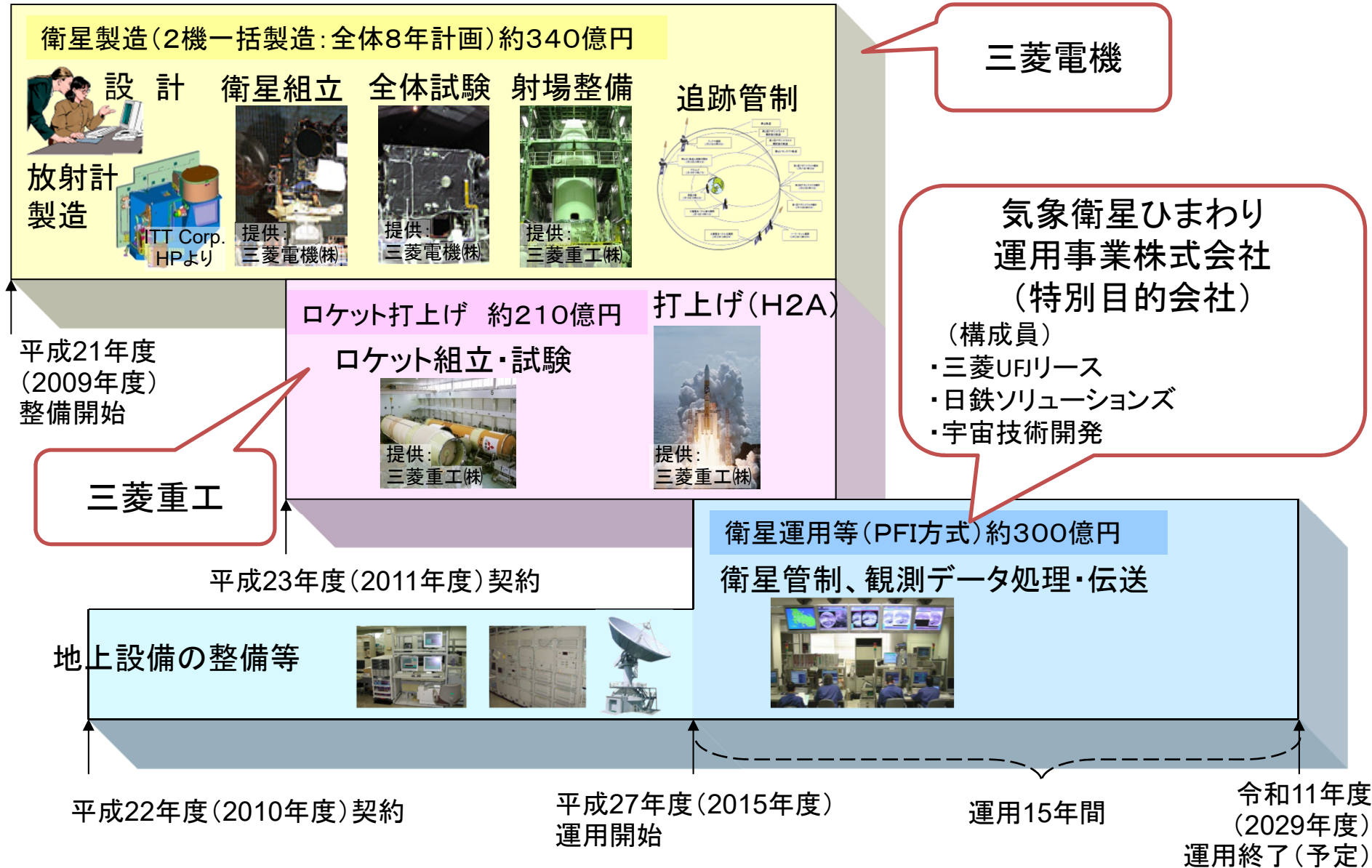
- ひまわり8号・9号の整備運用事業について
- データ配信の全体像について

令和2年7月21日

気象庁観測部気象衛星課

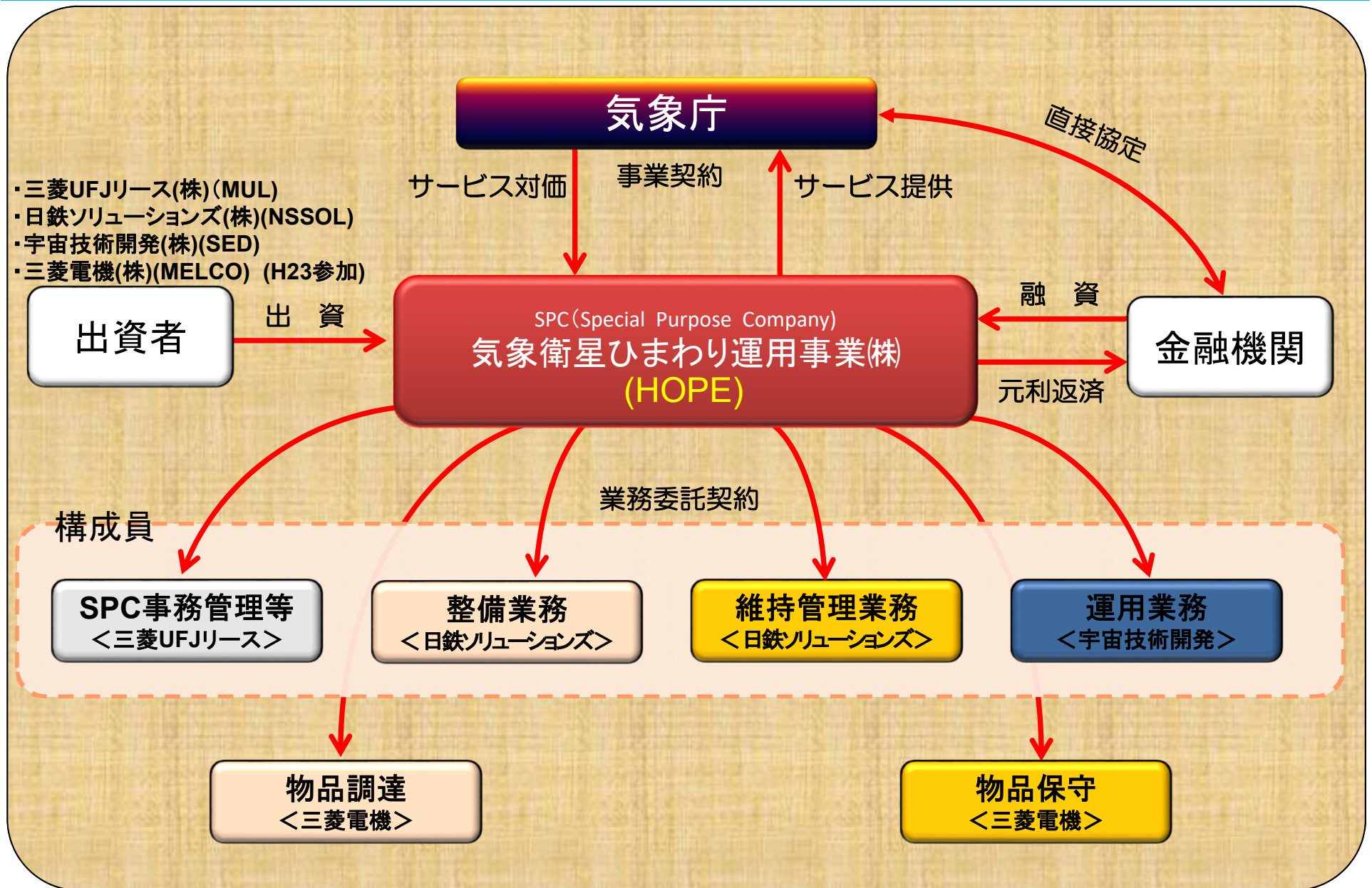
「ひまわり8号・9号」の事業費

※ 経費はすべて2機一括



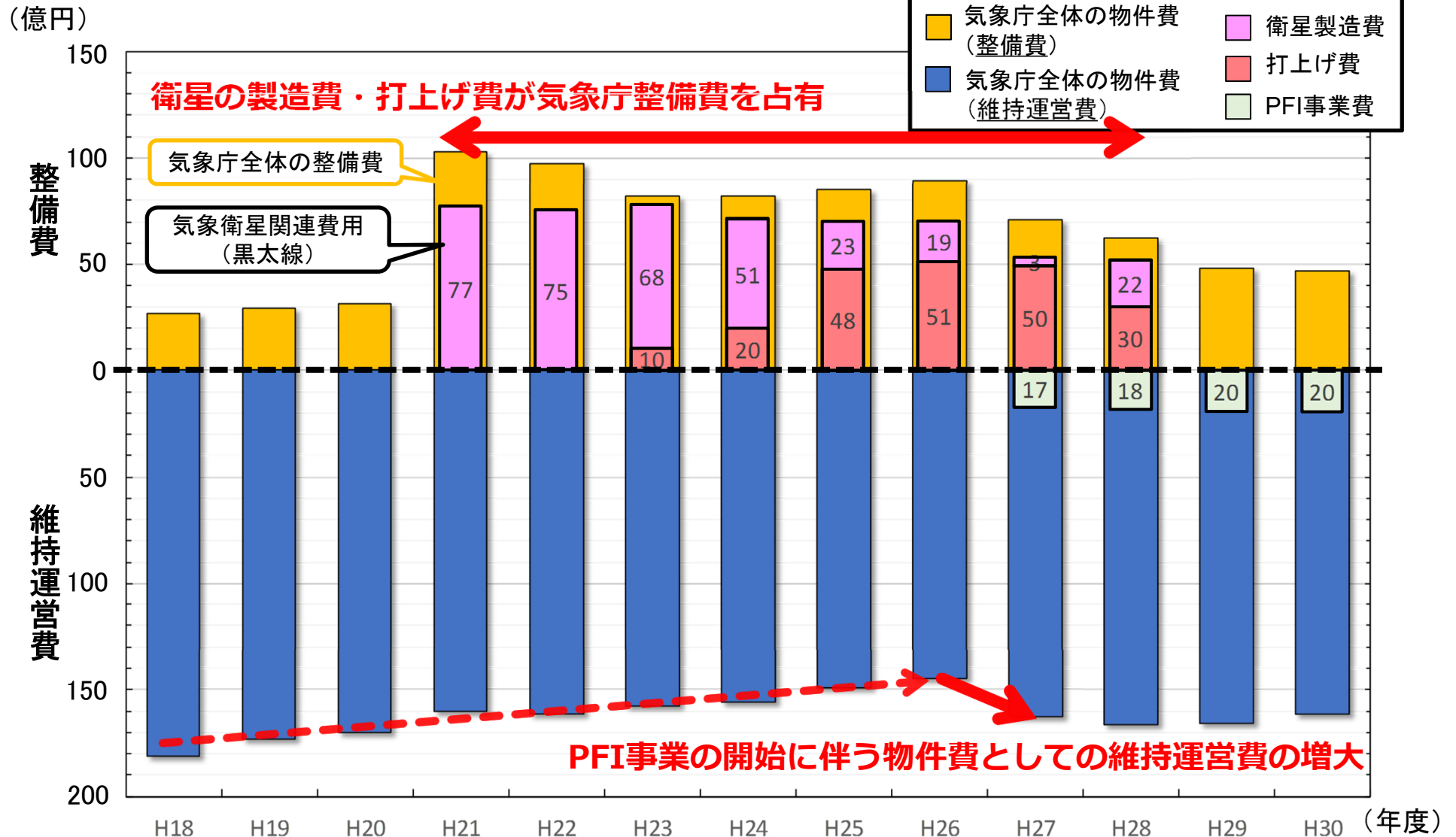
2009年度から2029年度まで(21年間)の総事業費は約850億円

PFIの事業スキーム



ひまわり8号・9号の経費

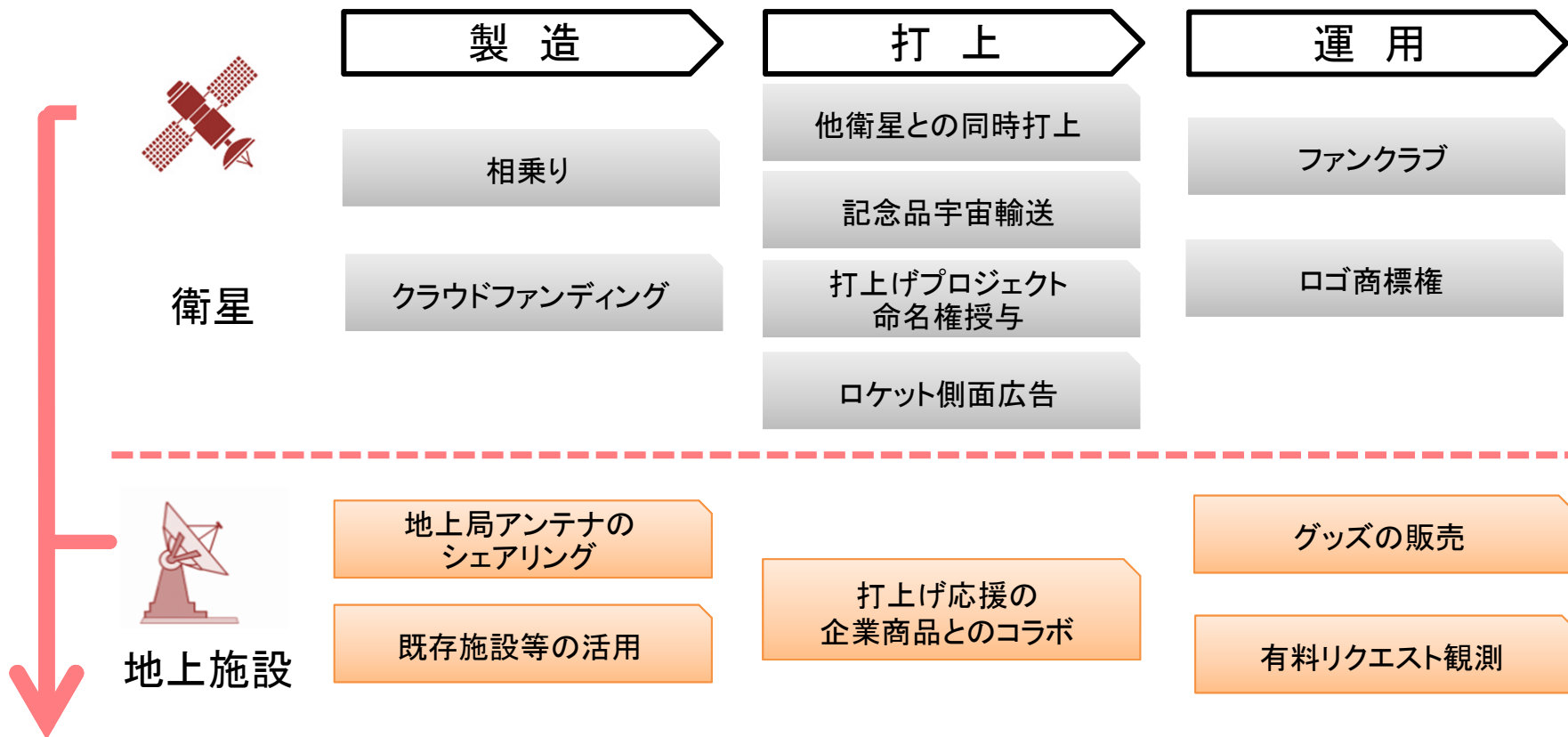
年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
物件費 [億円]	208	203	201	263	259	240	238	235	234	234	229	214	209



気象庁一般会計予算物件費とひまわり8号・9号の経費

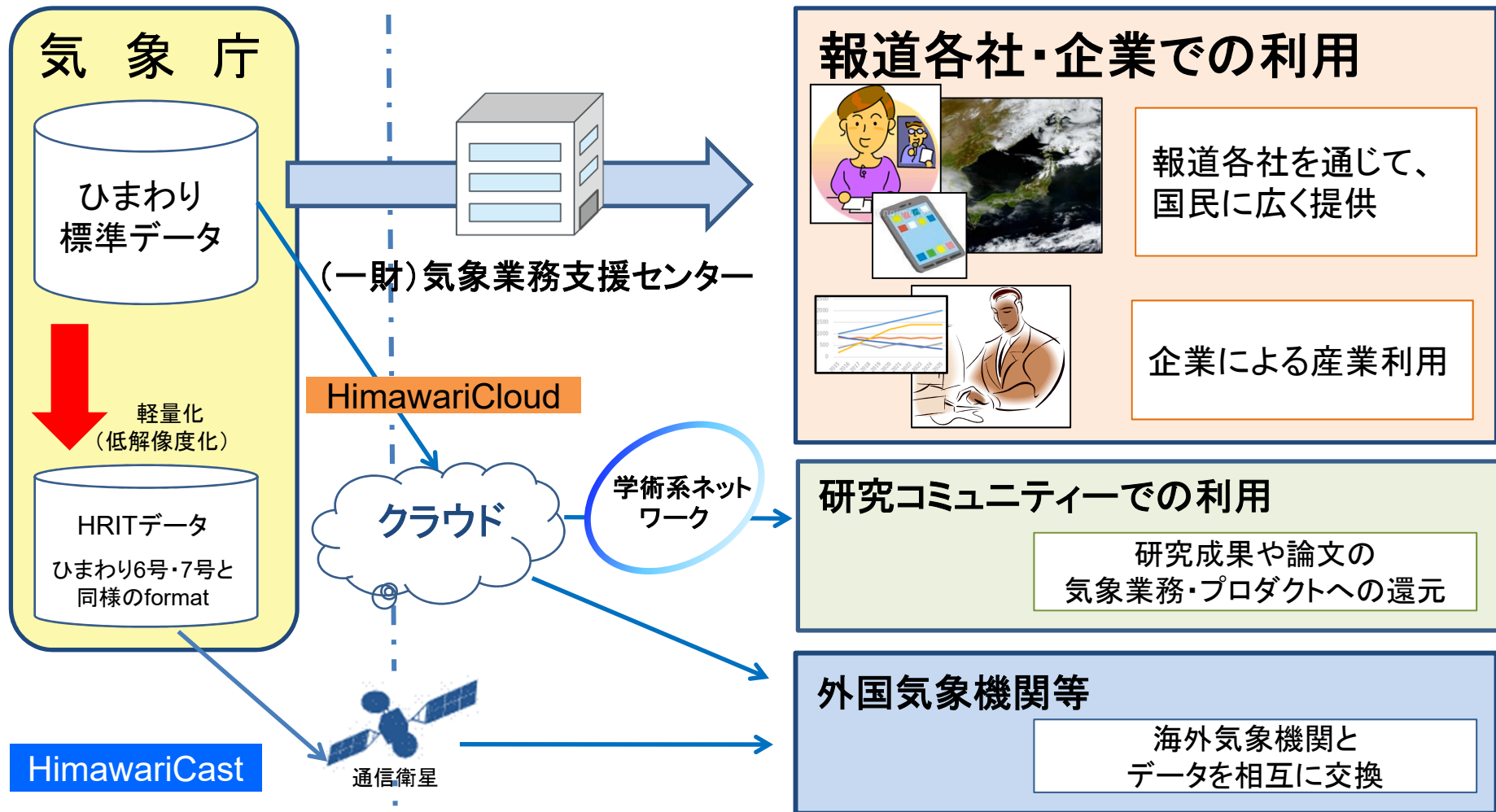
PFIの収益事業等による経費面での効率化の検討

- 後継衛星に向けた検討にあたり、PFIの収益事業の併設など、経費縮減・捻出の可能性を模索することも肝要。
- 現在のベンチャー等による宇宙関連ビジネスの状況等を参考にすれば、アイデアベースではあるが、例えば以下のような方策について可能性が考えられないか。



これらの可能性や効果について、令和2年度の検討の中で考察する。

ひまわり8号・9号データ配信の全体像



商用利用ユーザ、研究利用ユーザ、外国気象機関へ配信
利用用途やユーザーニーズに合わせたデータ提供